

①面のつづき 計行審第2回基本部会 20A、60A電子式計器も有効期間10年

委員からは、とくに10年使用後の再検定期間において、携帯電話などの電磁波が電子式計器に与える影響を危惧する意見が出た。日電検担当者は試験項目の検討課題にする」と返答した。

検定有効期限を過ぎた電子式計器の扱いについて質問が出た。委員中に修理事業者がおらず、事務局と日電検が見解を回答した。電子式が登場してから日が浅いこともあるが、使えるものは使うことを基本的方針としている。機器の総入れ替えはまずなく、電池や回路の部分的交換を行った後、再利用している。電子製品のサイクルが短くなるなか、電子式の有効

結果も併せて揭示される。大きな異論がなければ、3月末にも審議結果が計量行政審議会会長に報告される。

パブリックコメントは電子メール、FAX、郵便で受け付ける。件名には必ず「パブリック意見」と記載する。22日の受付最終日は電子メール、be@meti.go.jp。

都計コン総会、研修会開催 荻輪氏講演、芝弥生会館

東京都計量器コンサルタント協会(岩下貞治会長)の研修会と平成18年度定時総会が2月24日午後1時半過ぎから芝弥生会館で開催された。

午後1時半過ぎから研修会が開かれ、日本計量史学会荻輪善蔵会長による「計量制度と抜本見直しと法改正」現状と問題点について講演がとのおこなわれた。午後3時過ぎに開

かれた総会は、まず岩下会長から挨拶があった。当日の本人出席は41名であった。同協会の主な事業である「計量思想の普及事業」と「家庭用計量器の精度確認」事業は、適正計量を実現する上で有効な手段であり、協会の知名度向上にも役立っている。会長は、いまは協会役員が手分けして事業を推進しているが、一般会員にも事業への積極的

計量行政審議会基本部会委員
◇部会長 飯塚幸三 (社)日本計量振興協会
◇委員長 青山理恵 (社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
◇常任理事 伊藤久 (電気事業連合会専務理事) 上田全宏 (財)

日本品質保証機構理事 部長長 竹下晋平 (社) 大野隆夫 (日本電気計測器工業会) 田中充 (独産業技術総合研究所計測標準研究部門長) 畑中利勝 (関西電力) 甲斐方子 (全国地域婦人団体連絡協議会常任理事) 佐野真理子 (主婦連合会事務局長) 芝田裕一 (読売新聞東京本社編集局科学教授) (敬称略)

会場を移して懇親パーティーが催された。来賓を代表して(社)日本計量振興協会河住春樹専務理事、(社)東京都計量協会渡部勉会長から祝辞が述べられ、東京都計量検定所大平久夫副所長の音頭で乾杯した。

東京都計量技術講習会開く 高い関心、九州からの参加も 計量法見直しの動向を示唆



東京都計量検定所が主催する2005(平成17)年度東京都計量技術講習会が3月1日、東京・港区の都立産業貿易センター浜松町館で開かれた。講師に(独)製品評価技術基盤機構認定センター(IAJapan) 岩崎義博認定課長を招き、計量制度に係る適合性評価と国際規格について、その根幹となるISO/IECの要求事項を具体的に説明した。

会が3月1日、東京・港区の都立産業貿易センター浜松町館で開かれた。講師に(独)製品評価技術基盤機構認定センター(IAJapan) 岩崎義博認定課長を招き、計量制度に係る適合性評価と国際規格について、その根幹となるISO/IECの要求事項を具体的に説明した。

講演に先立ち、同所村松徳治指導課長が挨拶した。遠くは九州からの参加者もあり、定員を超えらる応募があった。参加者にもISO/IECへの関心も高かった。講習会の準備が求められている。講演では、海外での活用事例のほか、日本でも強制法として取り入れられた製品安全4法のケースなどを紹介しながら、第三者認証制度がどのように使われているかを説明した。

計量法には型式承認や検定、JCSS校正やMLAPによる計量証明など、さまざまな適合性評価制度が設けられている。現在進められている計量法見直し作業では、第1ワーキンググループの委員でもある岩崎課長は、任意の制度で再検査の規定がないJISの拡大を危惧する意見があることに對し、製品認証システムのISO/IECガイド67を日本の使用実態に合わせて再設計すればいいのではないかと述べた。また、基準器検査には不確かさがなく、国際的要素事項を満たしていないという指摘がある。これについては検定公差を不確かさに置き換えるという見方が出てきている、と見直し作業の現状を伝えた。

千葉県計量検定所は、2005年11月1日から30日まで「計量正確強化月間」として、計量関係知事表彰、計量管理基礎講習会、家庭用計量器無料検査、計量展を実施した。

【計量関係知事表彰】
【期日】05年11月1日
【内容】ヤマサ醤油(株)を計量管理実施優良事業場として表彰。
②計量管理基礎講習会
【期日】05年11月16日
【会場】千葉市「暮らしのプラザ」3階研修講義室
【受講者】93名
【内容】計量法省令のJ

千葉県計量検定所は、2005年11月1日から30日まで「計量正確強化月間」として、計量関係知事表彰、計量管理基礎講習会、家庭用計量器無料検査、計量展を実施した。

【内容】計量法省令のJ

千葉県、計量強調月間行事報告 知事表彰、講習会など実施

IS引用と省令改正の概要、講師：(独)産業界技術総合研究所計量標準管理総合センター法定計量技術科職員4名
③家庭用計量器無料検査の実施
【内容】一般家庭で使用されているヘルスメーター・ベビースケール・キッチンスケール・体温計及び血圧計の精度確認検査。
④計量展の開催
【内容】消費者を対象に暮らしに係る色々な計量について、その普及啓発を目的とした内容で、市が開催する「消費生活展・産業まつり」等に計

量展として企画。【実施市】旭市(11月6日、四街道市(11月12、13日)、富津市(11月13日)、佐原市(11月20日)、木更津市(11月20日) ⑤月間啓発立看板の掲出・記念日ポスターの配布・県庁ホームページ 【内容】11月1日～30日の期間計量検定所正面に立看板を掲出▽月間啓発として、県の機関と市町村にポスター(281枚)を配布、掲示依頼▽県庁ホームページの所属「計量検定所」で、計量正確強調月間行事の内容を紹介 ⑥関係計量団体への月間行事の協力要請 【内容】千葉県計量協会

長野計器とナガノ計装は、計量法に基づく圧力の校正事業者です。

JCSS 0080 JCSS 0143

校正範囲
気体絶対圧力: 5kPa以上 350kPa以下
気体ゲージ圧力: -80kPa以上 7MPa以下
液体ゲージ圧力: 1MPa以上 500MPa以下
(液柱: 10kPa以上220kPa以下)